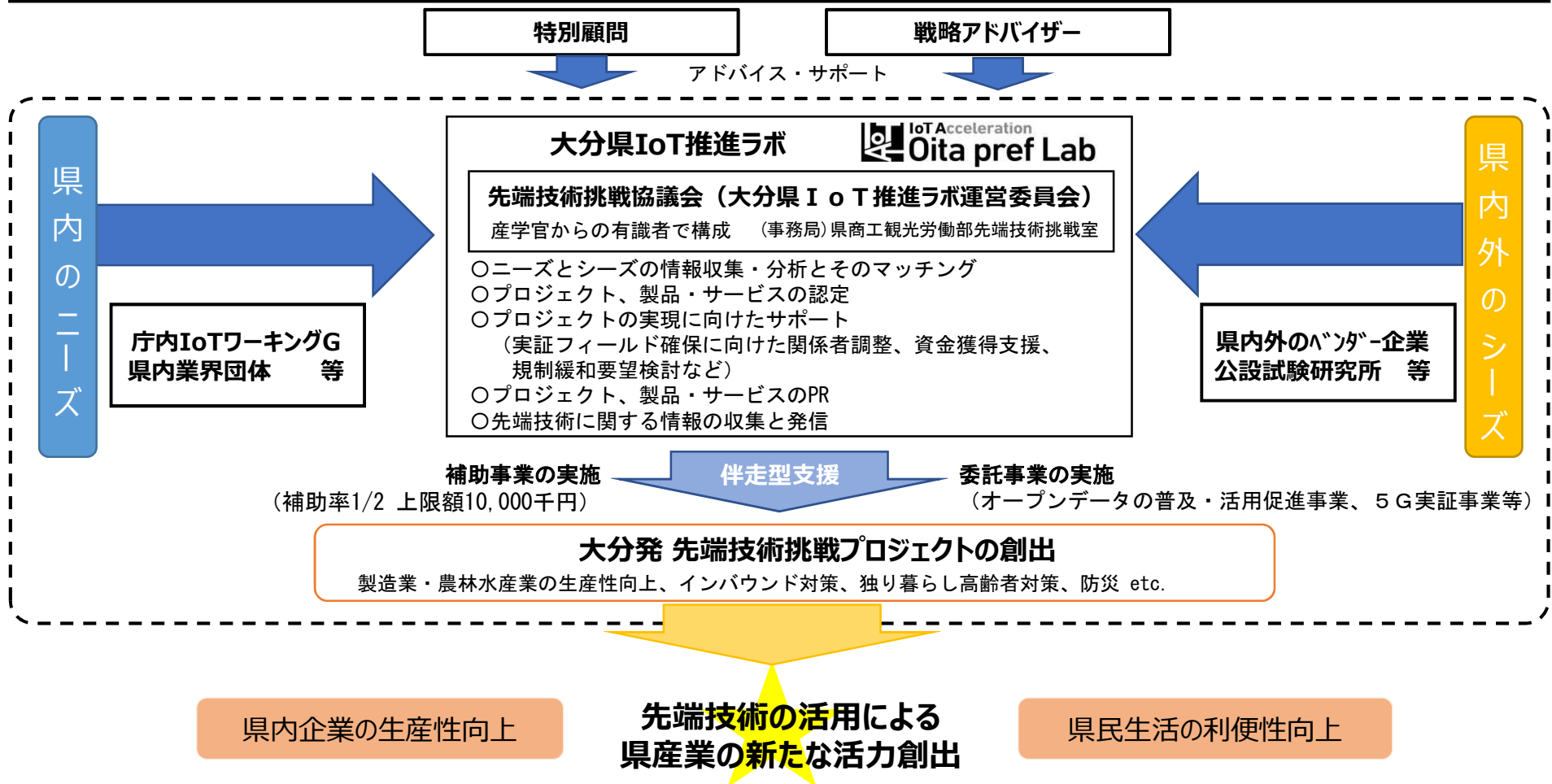


先端技術挑戦プロジェクト推進事業

- 様々な地域課題（ニーズ）と、IoT、AI、ロボット、センサー等の先端技術やアイデア（シーズ）をマッチングする機関として「大分県IoT推進ラボ」を設置（平成29年3月）
- 県内外の専門家を戦略アドバイザーに任命し、その助言を受けながらプロジェクトの創出を進めるとともに、県民生活や企業活動の改善への貢献度が大きく、ビジネスとしても将来性の見込めるものに対しては、財政支援等を実施
- 様々な特色あるプロジェクトを創出することにより、大分の産業の新たな活力を創出し、内外へ発信
- 先端技術に関する様々な情報の収集や発信を行う「先端技術挑戦協議会」を設置（令和元年7月）



有望プロジェクトへの助成

●おおいたIoTプロジェクト推進事業費補助金(R2年度から、先端技術挑戦プロジェクト推進事業費補助金)として、2019年度は4件、これまで3年間で12件の補助事業を採択。 補助率：1/2 上限額：1,000万円

令和元年度 補助金採択プロジェクト

防災・減災のための情報活用プラットフォーム構築プロジェクト

事業実施主体 (コンソーシアム構成員)

- 株式会社ザイナス
- 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
- SAPジャパン

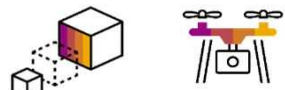
【事業概要】

被害予測に基づいた迅速な調査や防災教育など、防災・減災に関する様々なサービスが生まれ活用されることを目指すプラットフォームの構築

情報の集約・分析・評価



ドローンデータの集約・三次元データ利用



データコンテンツによる防災教育



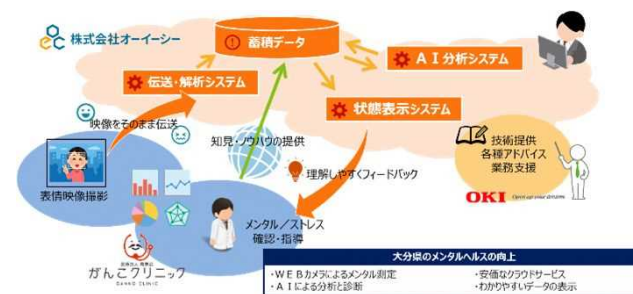
カメラ画像解析によるメンタルヘルスチェックと、AI技術を活用した分析サービスの構築

事業実施主体 (コンソーシアム構成員)

- 株式会社オーイーシー
- 沖電気工業株式会社九州支社
- 医療法人 寛恵会 がんクリニック

【事業概要】

カメラ映像を活用した、AIによる新しいメンタルヘルスチェックサービスの開発



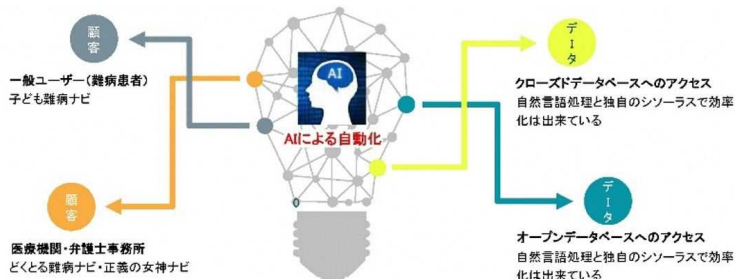
医師向け医療レファレンスサービスにおけるAI開発と事業化

事業実施主体 (コンソーシアム構成員)

- 株式会社単斗
- 医療法人 敬和会
- 大分大学医学部・経済学部 等

【事業概要】

難病に関する世界中の医療情報、医療論文等の中から、依頼者が必要とする情報を調査の専門家が収集し、翻訳して提供する、医師向け医療論文検索サービスのAI化



IoTを活用した空気殺菌装置「エアロシールド」の機能向上プロジェクト

事業実施主体 (コンソーシアム構成員)

- エネフォレスト株式会社
- 西日本電信電話株式会社
- 北九州工業高等専門学校 等

【事業概要】

空気殺菌装置「エアロシールド」に人感センサーによる紫外線照射コントロール機能や、メンテナンスのためのデータ管理機能といったIoT機能を付加



R2 先端技術挑戦プロジェクト推進事業 実施フロー

大分県IoT推進ラボ プロジェクト認定

- ・大分県IoTプロジェクトのロゴマークが使用できます。
- ・県(ラボ事務局)が様々な場でプロジェクトをPR、普及支援します。
- ・(必要に応じて)実証フィールドの確保支援、国の補助金申請や規制緩和要望などをラボ事務局がサポートします。

先端技術挑戦プロジェクト 推進事業費補助金

- ・プロジェクトの実施に要する経費の一部を県が補助します。
補助率: 1/2
補助上限額: 1,000万円
- ・申請には、「大分県IoT推進ラボ」プロジェクト認定を受けている必要があります。

